

平成 29 年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	上越地域難聴幼児支援事業
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 准教授・小林 優子
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 別紙 1 (担当者職名・氏名) 別紙 1
4 事業の趣旨・目的	上越地域(上越市、妙高市、糸魚川市)の難聴幼児の発見から就学までの関連諸機関のネットワークを構築・維持し、教育相談その他の支援事業を継続的に展開することが本事業の目的である。同時に上越市役所健康づくり推進課と連携して「子どものきこえ相談室」を毎月1回、上越教育大学特別支援教育実践研究センターを会場に実施し、上越地域に在住する難聴幼児およびその保護者への教育相談・指導を行う。
5 事業活動報告	平成 29 年 7 月に第 23 回、平成 30 年 3 月に第 24 回「上越地域難聴児サポートシステム会議」を開催した。各参加者および会議の内容は別紙 2～5 を参照。 「子どものきこえ相談室」を毎月 1 回、計 12 回実施し、新規の受付、教育相談・指導および補聴器相談などの継続的なフォローを行った。開催日等は別紙 6 を参照。
6 本事業で得られた成果	「上越地域難聴児サポートシステム会議」では各関連諸機関の間で情報交換がなされ、現状と課題を確認し、その場で解決策が検討され、実施されることになった。主な協議事項として、未就学児のきこえのチェックシートを作成し、幼稚園・保育所などに配布の提案などが挙げられた。また、当該会議の折、地域の難聴幼児に対するサポート窓口として別紙 1 の関係機関の担当者との連絡網を作成し、連絡が円滑にとれるようにした。 「子どものきこえ相談室」に関しては、平成 28 年度の相談件数が 41 件あり、新規で相談に訪れた幼児は 6 名いた。
7 その他 (成果物等の名称)	

提出期限：平成 30 年 4 月 13 日 (金)